



Rotary



2016-2017 年度

国際ロータリー会長 / ジョンF. ジャーム
2690地区ガバナー / 庄司 尚史

会長 / 田中 浩史
幹事 / 小汀 泰之

副会長 / 佐々木 哲也
会計 / 黒田 昌弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

| 例会日 | 卓話者 | 演題 |
|-------|-------------------|-------|
| 1月19日 | 会員 伊藤義徳・大島卓爾 | 年男の抱負 |
| 1月26日 | 会員 飯塚詔夫・来間 久・土江光二 | 年男の抱負 |
| 2月2日 | 大谷 香代子 様 | |

■出席報告 ■

| 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席率 | 前々回補正出席率 |
|-----|------|--------|---------|----------|
| 43 | 32 | 11 (3) | 80.00 % | — % |

■欠席者 ■

加藤昇・土江・三好・清原・飯塚俊・飯塚大・園山・山口
(山根/牧野/田中)

■来訪者 ■ なし

■メイクアップ ■ なし

■次回例会受付当番 ■

(2月2日) 持田稔樹/恒松克己/内田節夫

(2月16日) 持田祐輔/遠藤 栄/福田磨寿穂

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

| 月 | 出雲中央 2/20(-) | 松江南 1/23 |
|---|-----------------|-------------|
| 火 | 出雲 | 松江しんじ湖 1/24 |
| 水 | 大社 | 松江 1/25 |
| 木 | (-) ; ビジター受付 なし | 松江東 1/26 |
| 金 | 出雲南 1/20 1/27 | |

■会長挨拶 ■

1月の今頃は、我が家では「帳開き」といって、帳簿類を床の間に、お神酒などとともになえ商売繁盛をおいのりしていましたが、最近ではパソコンにお供えをしていたりしていましたが、いつしかこの行事もなくなりました。思えば大みそかから続いた一連の行事は、根菜類と赤貝と海苔の煮物・なます・鯨汁。元旦は小豆の雑煮・二日からは十六島海苔の雑煮。我が家では七草粥の習慣はなくて、15日ごろに粥に餅の入った餅がゆと、正月行事が続きます。以前は正月に家の中に20か所くらい供える習慣もありましたが、近年は5か所くらいに簡略化しました。正月が終わると3月くらいまで水につけた餅を食べていました。帳開きは商家で蔵開き、農家では鋤初め、武家では具足ひらき、鍛冶屋ではふいご開きなどがあって、実質的な仕事始めではなかったと想像しています。この正月は長男が帰郷していて、写真やビデオに記録してでもこのような正月行事を引き継ぎなければと思います。

■幹事報告 ■

1. I M 当クラブ 23 名登録(1/13メ切り) 追加登録可能(特に入会5年未満の方)
2. 2016 年度日本語版手続要覧ご注文について
各クラブへは1冊ずつ無料贈呈
個人でご希望の方 事務局まで (1冊 \$6.00)

■スマイル ■

佐々木(島根県内でもインフルエンザの流行期に入ってきました。
みなさんもお気をつけ下さい。)

■スピーチ・例会行事 ■

年男の抱負

会員 大島 卓爾



7 回目の干支がまわって来ました、ロータリーでは 3 回目のスピーチです。ありがたいような ありがたくないような気持ちです。

仕事も第一線から外れると、計画や決意等ないがただ余生の過ごし方を考えるようになります。

1 日、1 か月、1 年が平穩に過ぎれば一番幸せ・・・ところがそのような中で仕事も60年位やりますと、今までやってきた流儀やそれに伴う思いの起伏等、抑えることの出来ない自我流のシメツ付いたものが感情を支配し抜けないものがあります。そんな中で 1 週間に 1 回の例会に出席するというような会員に接し気分がリフレッシュされます。ロータリーはこのようなところでも人生修業の効能があります。要するにロータリー会員はお互いに会員の皆さんに助けていただいていると云うことです。ロータリーは、いい人を作るいい組織だと云われますが正にその通りであるとおもいます。

世界の三大聖人といわれた、中国の孔子でさえ人間老いていくことについて考えていたようです。

孔子の名言(論語)

孔子の人生観

◎人は楽しみを 以って うれいを忘れ

老いの 正に 至らんとするを 知らず

(人生は常にプラス思考で楽天的に考える、その事が老いを防ぐ)

◎酒は人を和し 活力を生み 善意の心を育む (奉仕)

(酒は人を和やかにしお互いに身も心も満たされた時に 善意の心が生まれる) (奉仕)

現代風の人生観

人生とは いかにかに生きてよいか

① 明るく ; 性格的に明るく(振舞う)

② 元気で ; 身も心も 安らかで(健全で)

③ 遊び好き ; 趣味を持つこと 一つのことに没頭できる(熱中すること)

④ 欲が深く ; 何でも OK でなく探究心を以って物事を考え選択する

⑤ いい加減 ; 余り物事を深く考えない 神経質にならない大らかであること

人が生きることは他人に迷惑をかけること、高齢者は特にその典型です。生かされていることに感謝し、その中でどのような奉仕が出来るか これからも勉強したいと思っている。

ロータリー、干支の 3 回目のスピーチを終わります。

会員 伊藤 義徳

年男でも色々ありまして、我々の様な口トトルは悲しき面があります。前回の新年宴会の時に年男が集まりました。これは「烏合の衆」と申すでしょうか。誰が何分話すか論じました、結論は言論の自由にはばまれ、すきな様にする事にしました。



私は昭和8年3月8日生まれです。少年時代は戦争中で土手町にいた時です。鴨が子供を連れて泳いでいました。親をおどかして子供をつかまえ、金だらいの中に泳がせ遊びました。

太平洋戦争も終わり、平和な時代となりました。医者になるため鳥取大学に入学、毎日野球の勉強を一生懸命に学び、平田へ帰省ロータリーに入会し、本日年男の抱負を述べよ云われ、お釈迦様のもとに行きました。途中三途の川があり、長ぐつを履いて渡ろうとしたら閻魔さんににらまれ、モリナガのキャラメルを食べ、背に羽根を生えさせ越えました。ところがお前はまだ早いと追い返されモウコケッコウと云うまでビールを飲めと云われました。

所で90歳、健康年齢を目指し、動く事、頭を使うこと、即ち畑をして体を動かす事にしました。現在、安楽死の希望が多い様ですが経験上全身麻酔をかけて、主治医に手術のミスをして下さいと頼めば如何。